

申  
3  
号

## 2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

### 第1回団体交渉を行う!! (その1)

3月17日、申3号で要求した趣旨について  
会社に説明し満額回答を要求しました!

組  
合



職場の努力と  
労働力の価値  
向上に報いる  
回答を  
強く求める!

- ・新型コロナウイルスの感染者が出てから1年が経過するが「安全で安心してご利用いただける駅」を目指して、感染しない・させないの自己管理を1年間徹底して行ってきた。
- ・(株)JR 東日本ステーションサービスは、JR 東日本グループ会社における「駅業務の戦略子会社」としての役割が大きく、3月末で終了する「JESS ビジョン 2020」の達成に向けて私たちは取り組んできた。その結果、JR 東日本グループの厳しい決算の中、第3四半期決算は増収増益。営業収益は前年度を大きく上回った。私たちの努力の結果が決算に現れている!
- ・コロナ禍でのお客さまの利用状況や売り上げを鑑みて、泊まり勤務の削減やパート社員の勤務時間も減らされている。最近、利用者も増え、少ない人員での対応で負担が大きくなっている。
- ・駅遠隔操作システムにおいては、宅配便、郵便物、券売機保守作業、車イス対応、券売機トラブルなど被制御駅への係員対応依頼が、日に50件以上発生し、大変苦勞している。
- ・2月13日に発生した地震により東北新幹線が臨時ダイヤで運行となり、地震発生前に予約していたeチケットやトクだ値の割引きっぷの対応に追われながらも、お客さま目線に立った的確な業務遂行をしてきた。
- ・労働力の価値向上とコロナ禍における不安と苦勞に見合った基本給の底上げをすべきだ!
- ・今後の事業拡大に伴い新規採用者の確保が必須であり、社員一人ひとりのモチベーションを向上させ、企業の魅力を維持させていくためにも賃金の底上げは重要だ!
- ・ステーションサービスという独立した会社として、組合員・社員の努力と今までにない苦勞に報いるためにも、満額回答を要求する。

会  
社

- ・新型コロナウイルスは感染が広がってから1年以上経過した。ワクチン接種もいつになれば接種できるかはっきりしていない。業務上も高い緊張感をもって、休日も自由な外出が出来ず公私ともに厳しい1年だったが、尽力いただいたことに感謝している。
- ・JR 東日本グループは発足以来、極めて厳しい業績である。
- ・委託契約なので、今年度は増収増益だが、来年からは大きく局面が変わることが推定される。
- ・JR 東日本グループ会社としてグループ全体の21年度の黒字化を達成するためには、当社のグループ全社で仕事の仕組みをゼロベースで見直し、徹底したコストダウンが必要である。
- ・基本給の引き上げは、長期的な人件費にも影響を与える。極めて厳しい経営環境があるので、引き上げには極めて慎重にしなければいけない。

**増収増益の決算は職場での努力の結果だ! コロナ禍で命がけで業務に就いている!  
会社は、人への積極的な投資を行い満額回答するべきだ!**